

授業科目名	演劇教育論	担当教員	石井 路子 鎌田 麻衣子
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3 年 第 3 クォーター		
講義内容	演劇を活用した教育を支える理論と実践について、最新の動向を実践的に学ぶとともに、文献を活用して、通時的、共時的な理解を深め、エビデンスに基づいたワークショップの企画提案する力を身につける。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演劇を活用した教育が、どのような理論の積み重ねの上に成り立っているのかを通時的に理解する。</li> <li>・ 演劇を活用した教育の意義を、エビデンスをもとに説明できるようになる。</li> <li>・ 理論に支えられた、演劇を活用した教育の企画を、現場に合わせて提案できるようになる。</li> </ul>		
授業計画	第1回 演劇教育論とは何か？〈鎌田〉 第2回 クリエイティブドラマとプロセスドラマ〈鎌田〉 第3回 スポーリンとジョンストンのインプロ（即興演劇）〈鎌田〉 第4回 ジョナサン・ニーランズの批判的演劇教育〈鎌田〉 第5回 アウグスト・ボアールの批判的演劇教育〈鎌田〉 第6回 日本演劇教育史 戦前の演劇教育〈鎌田〉 第7回 日本演劇教育史 戦後の学習指導要領概観と演劇教育〈石井〉 第8回 学校における系統的演劇教育カリキュラム実践例1〈石井〉 第9回 学校における系統的演劇教育カリキュラム実践例2〈石井〉 第10回 Teaching Artist とニューヨークの演劇教育〈石井〉 第11回 韓国の文化芸術教育〈石井〉 第12回 韓国の文化芸術教育〈石井〉		
事前・事後学習	事前 予め指定する資料に目を通しておく。各回の授業で配布された資料と提示された参考文献を参照し自分の言葉で内容をふりかえる。		
テキスト	各回の授業において資料を配付する		
参考文献	『ドラマ教育入門』（小林由利子他、2010）、『インプロ』（キース・ジョンストン著 三輪えり花訳、2012）、『教育方法としてのドラマ』（J. ニーランズ・渡部淳、2009）		
成績評価の基準	平常点（ディスカッションや協同作業への参加）60%、レポート40%		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育			
備考欄	理論科目「演劇教育入門」や実践科目「演劇ワークショップ実習D」と合わせて理論と実践の往還を図っているので、履修計画の参考にしてほしい		